

政務活動実施報告書

令和8年4月15日

村上市議会議員 三田 敏秋 様

議員名 三田 敏秋



私は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

用 務 名	先進地視察
実 施 日 時	①令和8年3月26日 (木) 午後 1時00分 ~ 午後 4時00分 ②令和8年3月27日 (金) 午前 9時30分 ~ 午前 11時30分
用 務 先	①山形県山形市 (道の駅やまがた蔵王)、山形県米沢市 (道の駅米沢) ②宮城県白石市 (白石斎苑)、宮城県柴田郡村田町 (柴田斎苑)
参加議員名	※同行議員がある場合記入すること。 魚野ルミ、富樫雅男、小杉武仁、河村幸雄、渡辺 昌、尾形修平、鈴木一之、鈴木いせ子、川村敏晴、大滝国吉、三田敏秋
全体参加者数	※同行議員がある場合記入すること。 11 名
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 本市で今後検討されている「道の駅」や「火葬場」などの各種施設の建設・運営に関して、直営方式ではない民間活力を導入して運営されている施設について現地調査させていただきました。 ① 道の駅が単なる休憩や物販の場という意味合いだけではなく、その土地の文化や魅力を外部に発信し、地域における交流の場であることを強く意識させられる施設となっていました。施設を外部の方と地域の方が利用することで将来的には双方を繋ぐ拠点になりえるものと感じましたし、防災機能も整備され、緊急時の災害拠点としてもその機能を大いに期待される施設でした。本市においても「道の駅朝日」を新潟と東北を結ぶゲートウェイと位置付けており、「交流」「防災」など大変参考となる施設でした。 ② 火葬場の視察については、DBO方式により設計、建設といったスタートの段階から民間事業者が主導することでの発想や創意工夫を生かした施設運営が行われており、民間活力を生かすことが行政サイドの財政負担の縮減だけでなく、公共サービスの向上にも繋がっている部分が多く見受けられました。施設全体が故人との最後の時間を心穏やかに迎えることができる雰囲気であることはもちろん、授乳室やキッズルームも整備されており、参列される方への配慮が随所に見られました。本市の3つの火葬場は建築から30年以上が経過しており、施設整備に向けた検討が進められている中で、改めて民間の力を活かした整備、事業運営を目指していただきたいと感じました。
備 考	

